

2010年度

科目名	社会調査方法論		
担当教員	井上 徹		
配当	教福2	コード	12500
開期	通年	講時	月曜日2限
単位数	4		
授業テーマ	社会現象を科学的に探求する		
目的と概要	前期は、様々な社会調査について紹介し、そのなかの質問紙調査に焦点を当て、テーマの設定、調査項目の正しい作り方を解説する。後期は、社会調査で得られたデータを如何に分析し、解釈するかを、具体的な事例と実習を交えて講義する。社会調査を行なう上に必要な知識と技術を修得することを目的とする。		
成績評価法	平常点(10%) + レポート(30%) + 筆記テスト(60%)		
テキスト	酒井隆 2003 『実務入門 図解アンケート調査と統計解析がわかる本』 ミネルヴァ書房		
参考書			
履修に当たっての注意・助言	Excel を用いた統計的な処理の演習を頻繁に行う。休むと分からなくなるので、休まないように。		
講義計画			
<p>〔前期〕</p> <p>1. 社会調査とは何か (1) 社会調査としての3つの条件</p> <p>2. 社会調査とは何か (2) いろいろな社会調査</p> <p>3. 社会調査の設計 (1) 調査プロセスと調査企画</p> <p>4. 社会調査の設計 (2) 調査問題、理論仮説、作業仮説</p> <p>5. 調査票の作成 (1) 調査項目の作成</p> <p>6. 調査票の作成 (2) ワーディング</p> <p>7. サンプリング (1) 母集団と標本</p> <p>8. サンプリング (2) ランダムサンプリング</p> <p>9. サンプリング (3) 標本数の決定</p> <p>10. 様々な調査方法 (1) 面接調査の実際</p> <p>11. 様々な調査方法 (2) 郵送調査法、電話調査法など</p> <p>12. データの整理 (1) 調査票の点検、コーディング</p> <p>13. データの整理 (2) 結果の分析</p> <p>14. 報告書の作成 (1) 報告書概観</p> <p>15. 報告書の作成 (2) 調査全体の考察</p> <p>〔後期〕</p> <p>16. データ分析の考え方 計数値、計量値</p> <p>17. データの整理と集計 (1) 単純集計</p> <p>18. データの整理と集計 (2) グループ別集計</p> <p>19. 推定と検定 (1) 母集団の推定</p> <p>20. 推定と検定 (2) 統計的検定の意味</p> <p>21. クロス表の分析 (1) 2つの群の比較</p> <p>22. クロス表の分析 (2) 比率の差の検定</p> <p>23. クロス表の分析 (3) エラボレーション</p> <p>24. 関連の強さ (1) 相関関係</p> <p>25. 関連の強さ (2) 関連性係数</p> <p>26. 因果関係を考える (1) 因果分析</p> <p>27. 因果関係を考える (2) パス解析</p> <p>28. 質的データの分析 (1) 質的データの整理方法</p> <p>29. 質的データの分析 (2) ドキュメント分析</p> <p>30. まとめ 分析結果の考察について</p>			